

教科	本校児童の学力の実態	実態から身に付けさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○国語の学習にすすんで取り組む児童が多い。 ○読書にすすんで取り組む児童が多い。 ○読めるようになることに喜びを感じ、意欲的に音読する児童が多い。 ▲適切に「は」「を」「へ」を使うことができない児童が多い。 ▲「おねえさん」などの伸ばす音の理解が十分でない児童が多い。 ▲平仮名や片仮名の定着が十分でない児童がいる。	・語のまとまりに気を付けて音読する力 ・丁寧に正しく文字や文章を書く力	・図書の時間を活用し、様々な読み物に触れ語彙を増やす。 ・詩集を活用して音読練習を行い、正しく音読する力を付ける。 ・型を提示して繰り返し文を書かせ、主語と述語が一致するようにする。	
算数	○問題が解けたことに喜びを感じている児童が多い。 ○「自分の考えを発表したい」と意欲的な児童が多い。 ▲文章題に苦手を感じている児童が多い。 ▲数の分解への理解が十分でない児童がいる。	・文章を読んで理解し、課題解決する力	・児童の習熟度に合わせて算数クラス編成をする。 ・問題文と式を具体物、半具体物、と関連付けながら学習内容の定着を図る。 ・課題解決に向けて見当をつける経験を積ませたり、図を描かせたりすることにより、課題解決する力を身に付けさせる。 ・文章問題や文章問題作りの学習に繰り返し取り組ませる。	
生活	○植物や動物、昆虫への興味・関心が高い児童が多い。 ▲気付いたことを表現することに対し、苦手意識をもっている児童が多い。	・表現することを通して、気付きの質を高める力	・表現する活動を通して、児童同士の気付きを共有できる機会を設ける。	
音楽	○歌、楽器の演奏など、意欲的に取り組む児童が多い。 ▲表現することに対し、苦手意識をもっている児童がいる。	・表現するよさを味わい、主体的に学習に取り組む力	・歌ったり演奏したりする機会を多くもつ。 ・一人や小グループで表現する機会を多く設定する。 ・音の響きから感じ取ったことを全体で共有し、多様な言葉での表し方獲得させる。	
図工	○新しい活動に対する意欲が高く、楽しみながら取り組める児童が多い。 ▲はさみで切る、のりで接着する等の技能が身に付いていない児童がいる。	・いろいろな表現の良さに気付く力 ・道具を適切に使う力	・鑑賞の学習でICTを活用し、自分以外の作品の良さを具体的に表現させることを繰り返す。 ・様々な図工の技法を経験させ、図工表現の多様性を感じさせる。	
体育	○体育の学習を楽しんでいる児童が多い。 ○体を動かして遊ぶことが好きな児童が多い。 ▲投げの運動や持久力に課題がある児童が多い。	・自分の体をコントロールする力 ・苦手なことにも前向きに取り組もうとする力	・活動を始める前にウォーミングアップとして、音楽に合わせたステップを踏んだり様々な向きで走ったりして、バランス感覚を養う。 ・休み時間は外遊びをするように指導する。	